

葛飾区(東京都)の一体的実施

平成25年8月1日事業開始

区役所庁舎内に「就職支援コーナーかつしか」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

区

福祉サービス、相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者及びこれらの相談・申請段階にある者、高齢者・障害者・若者等の生活困窮者に対する支援

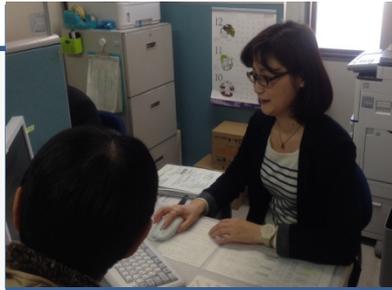
② 協定・事業計画

- ・葛飾区長と東京労働局長及び墨田公共職業安定所長の間で協定(*1)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を葛飾区と東京労働局及び墨田公共職業安定所の間で策定

*1 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・葛飾区職員、東京労働局職員、ハローワーク墨田職員をメンバーとする運営協議会を設置(葛飾区長が会長)



国

職業紹介・職業相談の実施等

福祉担当課が入居する庁舎に「就職支援コーナーかつしか」を設置。身近な区役所で、予約制・担当者制で国の職員が対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

葛飾区雇用と福祉の一体的就労支援事業

(1) 実施体制

区		国
・生活課	就労支援専門員 4名 就労意欲喚起事業受託者の支援員 5名	・就職支援ナビゲーター 2名
・福祉管理課	住宅確保・就労支援員 5名	・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を配置
・子育て支援課	ひとり親家庭自立支援プログラム策定員 1名	

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標 (25年8月～26年3月)	取組状況(25年10月末時点)
就労支援	生活保護受給者等に対する就労支援を月20人以上実施する。	生活保護受給者等の支援対象者 8月 <u>15人</u> 9月 <u>19人</u> 10月 <u>8人</u>
就職率	就労支援の対象とし、支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	支援対象者数 <u>42人</u> 就職件数 <u>17件</u> 就職率 <u>40.5%</u>

一体的実施事業による就職成功例

女性：47歳 希望職種：清掃他

○ 生活保護に至る過程

病気の夫を介護してきたが亡くなり、子供2人と生活。本人が病気になり、医療費がかさみ、生活が困窮し保護に至る。

① 抱える課題

・子供の成長に伴い、お金がかかるようになっていく。安定的に長く働ける正社員を希望するが、年齢や希望職種から求人数が少ない。

② 支援内容・ポイント・経過

・希望の清掃職以外でもできることはないかこれまでの仕事や人生経験を伺い、振り返る事で職種の幅を広げるようにした。
・親、夫の介護経験、子育て経験、医療機関での清掃経験を活かし、看護助手や診療助手等も視野に入れ、検討。

③ 結果

・産婦人科での看護助手・正社員採用
※支援期間 1カ月

○ ハローワーク担当者の所感

年齢や希望職種を考えると希望に合う求人が少ないため、厳しさを感じたが、仕事を含めた人生を振り返る事でできる事と条件の合う求人を増やした結果、自信や意欲が高まり、就職に結びついたと思料する。

○ 本人のコメント

このような仕事は資格が無いとできないと思っていました。自分では見つけれない求人を提案してもらい、感謝しています。

男性：57歳 希望職種：青果関係

○ 生活保護に至る過程

激痛を伴う病気が進行し、自ら人生を終わらせようとしていた所を保護され、受給に至る。

① 抱える課題

・年齢も高く、ブランクがある。さらに手術の大きな傷がある為、事業所が本当に仕事ができるのかと懸念されてしまう可能性がある事。
・家業に就いていたり、日雇いで仕事をしていたので、応募書類を作成した経験が無く、作成方法も自己理解もできていなかった。

② 支援内容・ポイント・経過

・これまでの職業経験を振り返り、自身の強みに気付いてもらった。
・仕事内容を細かく聞き、やってきた仕事を整理し、職種の幅を広げた。
・履歴書・面接対策について細かくアドバイス

③ 結果

・スーパーでの青果担当の店員 1年更新の契約社員
※支援期間1カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

手術の傷を心配していたが、本人へ自分の気持ちをストレートに自分の言葉で伝える事で理解してもらえ会社で働けるよう頑張らましょと勇気づけ、書類作成と面接での対応をアドバイス。結果、早期の就職に結びついたと思料する。

○ 本人のコメント

手術の傷をどう伝えたらいいのか悩んでいた。一緒に考えてもらったおかげで前向きに面接を受ける事ができました。感謝しています。